



【1-5】

湾・灘の区分	備後灘、備讃瀬戸、播磨灘
取組の名称	藻場造成
事業期間	事業期間:平成9年～継続実施中
事業体制	【モニタリング業務の業者との委託契約等】 香川県農政水産部水産課 【モニタリング調査(春季)】 香川県水産試験場
事業の背景・目的	減少が著しい藻場の回復を図るため、ガラモ場を中心とした藻場造成に取り組んでいる。
事業場所の詳細	香川県内
事業内容	 <p>着底基質の設置</p>
モニタリング方法(効果・影響の確認方法)	<p>1 調査内容</p> <p>(1)魚類の幼稚魚の蛸集及び海藻の繁茂状況</p> <p>①調査項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造物別に蛸集する魚類の種類、全長、尾数、重量、行動及び主な蛸集場所 ・増殖場区域内の構造物等周辺での蛸集状況 ・増殖場周辺の天然藻場での蛸集状況 ・構造物上の浮泥等堆積厚及び構造物の埋没状況 <p>②モニタリング方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜水調査により、上記調査項目を観察し、写真及びビデオに記録。 ・建網による蛸集魚の捕獲及び計測。 <p>(2)付着生物及び海藻の種類と現存量</p> <p>潜水調査により、上記事項を観察し、写真及びビデオに記録する。</p> <p>①調査項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付着生物:単位面積又は単位体積当りの種類ごとの重量 ・海藻:種名、単位面積あたりの本数及び藻長、重量 <p>②モニタリング方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付着生物: 1回の調査において、構造物ごとに1検体採取。1検体につき0.5m×0.5mのコドラートを用い、0.5mm目以上のふるいに残ったものについて計数、同定。 ・海藻: 1回の調査において、構造物ごとに1検体採取。1検体につき0.5m×0.5mのコドラートを用い、メッシュのネットで採取し、ガラモを含む全藻類の種類と重量を測定。 <p>2 調査時期・頻度</p> <p>春季、夏季、秋季、冬季 年4回(うち3回を調査会社へ業務委託)</p>

<p>(続き)モニタリング方法(効果・影響の確認方法)</p>	<p>3 調査場所 香川県三豊市詫間町香田地先</p> 																																																			
<p>取組による効果・影響及びその判断基準等</p>	<p>令和元年度までに120箇所、面積123.4haを造成。</p> <table border="1" data-bbox="432 882 940 1518"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>箇所数</th> <th>造成面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H9~H13</td> <td>25</td> <td>39.5</td> </tr> <tr> <td>H14~H18</td> <td>52</td> <td>48.0</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>6</td> <td>6.4</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>6</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>6</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>4</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>5</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>5</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>120</td> <td>123.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>現在、増殖礁整備後の効果を調査中。</p>	年度	箇所数	造成面積(ha)	H9~H13	25	39.5	H14~H18	52	48.0	H19	6	6.4	H20	6	4.7	H21	6	5.0	H22	4	3.7	H23	1	0.7	H24	5	4.7	H25	5	4.3	H26	2	2.2	H27	2	1.2	H28	1	0.5	H29	2	1.3	H30	1	0.4	R1	2	0.8	合計	120	123.4
年度	箇所数	造成面積(ha)																																																		
H9~H13	25	39.5																																																		
H14~H18	52	48.0																																																		
H19	6	6.4																																																		
H20	6	4.7																																																		
H21	6	5.0																																																		
H22	4	3.7																																																		
H23	1	0.7																																																		
H24	5	4.7																																																		
H25	5	4.3																																																		
H26	2	2.2																																																		
H27	2	1.2																																																		
H28	1	0.5																																																		
H29	2	1.3																																																		
H30	1	0.4																																																		
R1	2	0.8																																																		
合計	120	123.4																																																		
<p>モニタリング結果の活用方法</p>	<p>増殖礁整備後の効果の把握</p>																																																			
<p>関係機関等における連携・情報共有の方法</p>	<p>委託業務の効果説明会の実施</p>																																																			
<p>現状での課題</p>																																																				
<p>今後の予定等</p>	<p>香川県水産業基本計画に掲げる藻場造成面積131ha(令和2年度末)を目標に、藻場造成に取り組む。</p>																																																			
<p>取組事例についての発表資料等</p>	<p>瀬戸内海環境保全小委員会(第15回)資料</p>																																																			
<p>情報提供元</p>	<p>香川県農政水産部水産課</p>																																																			